

2022 年 4 月 13 日

2022 年 3 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は小ロット物件が中心であり価格修正前に納入する物件が目立ったが、仕事量の減少もあり前年並みであった。前々年比でみても 93.3%であり、盛り上がりがない状況となっている。

巻取は学参テキスト関連の動きがみられたものの、生損保、金融関連の大口物件の動きがほとんどなかった。一部価格修正前の駆け込み需要があったが、年度末とは思えない状況で前年を大幅に下回った。前々年比でみても 68.1%で減少に歯止めがかからない状況となっている。

（前年比 平判 99.1% 巻取 82.9%）

再生紙は指定物件、入札物件の受注減少が続いている状況と再生紙離れが定着しており、平、巻共に前年を大幅に下回った。前々年比でも 53.1%と回復基調には程遠いものである。

（前年比 再生上質平判 66.7% 再生上質巻取 81.2% 再生上質計 70.3%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 96.1%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保、出版、各企業向けカタログ、パンフレットで動きがありマット紙は前年を上回った。

巻取は生損保、食品デリバリー、通販、エンタメ関連で動きがあり、マット紙、グロス紙とも前年を上回った。

まん延防止等重点措置が実施され各業界においてコロナ禍での自粛が継続されていたが、一部価格修正前の仮需的な動きもあり全体で前年を上回った。

（前年比 平判 100.2% 巻取 109.3% 全体 102.4%）

（前々年比 A2 コート計 97.0%）

<A3 コート>

学習塾、食品スーパー、量販店、ドラッグストアの定期的なチラシ案件と、一部旅行関係、株主招集通知で動きがあり、巻取は前年を大幅に上回った。

（前年比 平判 104.6% 巻取 131.4% 全体 123.2%）

（前々年比 A3 コート計 113.5%）

<ノーカーボン紙>

生損保帳票の一部改定作業も一段落し、民間の動きも低調に推移した。コロナワクチン予診票も細分化され細かな動きに終始し、巻平共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 94.1% 巻取 82.0%）

<上質フォーム>

納付書をはじめとした自治体案件は堅調に推移した。またGWに向けた旅行関係の行程表などまん延防止等重点措置が明け動き始めた感はあるが、特需的な動きは見られず前年を下回った。

(前年比 97.6%)

<包装用紙>

特殊両更は官公庁関連、一般企業向け事務用封筒に動きが見られ前年を大きく上回った。

(前年比 129.0%)

軽包装は製本会社向け雑包装用途とその他包装用途が安定した動きで前年とほぼ同等の動きとなった。

(前年比 102.8%)

片艶晒は保険会社関係の封筒は同等の動きがあったが、全般的には供給不足で他品種に移行した案件もあり前年を大きく下回った。

(前年比 87.7%)

両更晒は組合系、通信会社向け、コロナワクチン用で需要があり前年を上回った。

(前年比 107.1%)

前年よりも人の流れが増えた影響で、純白ロールはお彼岸の生花向けや年度末の贈答品の包装紙に動きが見られ前年を大きく上回った。

(前年比 139.0%)

包装紙全体では100.6%と前年と同等の動きとなった。

<板紙>

コートボールは食品関連が安定しており、土産、医薬品関連にも動きがみられた。

高板は出版や商印関連が低調だった。特板はテイクアウト、菓子関連が堅調であった。

チップボールは土産関連に動きが見られ、出版やPOP関連の動きが低調であった。

価格修正前の仮需もあり全体的には前年を上回った。

(前年比 111.8%)